

子宮頸がん検査のお知らせ

NEW!

★2023年4月より

ヒトパピローマウイルス（HPV）検査を導入しました。

子宮頸がんはヒトパピローマウイルス（HPV）というウイルス感染が原因であることがわかっています。

子宮頸がんは20～30歳代の若い女性に多く、国内では毎年約1万人の女性が子宮頸がんと診断され、約3000人が死亡しています。（2022年 がん種別統計情報）

HPV検査はお申込みいただいた「子宮頸がん検診」用に採取した検体で検査ができます。検査当日でも検査を追加することができ、時間も余分にかかりません。

HPV検査と細胞診を併用することで、「前がん病変」の検出率があがります。ご希望の方は、お近くのスタッフにお声がけください。

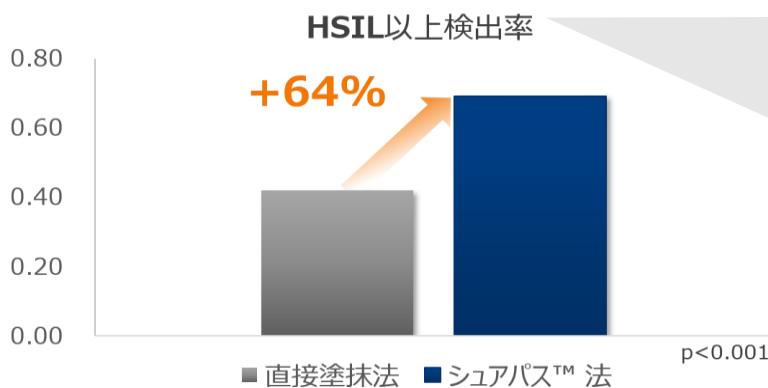
料金 6,600円(税込) でオプション検査に追加できます。

NEW!

★2023年4月より

健診の子宮頸部細胞診検査を「従来法」から「液状化細胞診」へ変更しました。

検査で使用したブラシをそのまま検体容器に入れるため、採取した細胞を100%回収でき、検査の精度が上がります。



HSIL：（中等度異形成、高度異形成）以上の検出率は有意に向上しています。

（Rozemeijer K. et al. BMJ 2017; 356:j504.）

子宮頸がん検診の研究ではHSIL以上を早期発見することで、浸潤性子宮頸がんに進展するリスクを減らす可能性があることが報告されています。（Fontaine D. et al. BMJ Open 2012;2:e000847）

海上ビル診療所